

あお（青）ガエル あか（赤）ガエル

東急電鉄のカンバン路線である、東横線に当時としては画期的なモノコックボディによる車体の軽量化、カルダンドライブによる加減速性向上と乗り心地の改善など最新技術を導入した最新鋭の名車「5000系」が誕生した。

（東急電鉄は、最近になって新5000系を作ったので区別するために旧5000系と呼ぶようになったようです）

昭和29年からおよそ5年間で100台以上生産された名車であるが奇る年波と世代交代の波で、長野電鉄、上田電鉄、岳南鉄道、熊本電鉄、松本電鉄、福島交通などあちこちに身売りされ、第2の人生を送っています。（かなり廃車が進んでいます）

旧5000系は、出生当初から塗装色は「濃い目の緑色」で当時としてはかなり斬新的で刺激的なものでした。デビューとともにその姿と色彩からあだ名を「アオガエル」と呼ばれるようになりました。

熊本電鉄では、

一両運行用とワンマン運転用に改造されたが、塗装色は東急電鉄時代のママを踏襲しているので、あだ名も、

「アオガエル」

のママになっています。



長野電鉄では

五輪誘致に併せた長野駅の地下化に伴い東急電鉄旧5000系を導入したが、塗装色を思いきって「濃い赤色」としたので、あだ名も

「アカガエル」となった。

